薬局が地域密着の健康情報拠点として役割を担う存在へ

健康情報誌『ヘルス・グラフィックマガジン』のテーマに連動した薬局店舗での物販企画が始動

2015年9月、厚生労働省は、「健康サポート薬局のあり方について」の報告書※を公表しました。報告書では、国民の健康寿命の延伸を大きな課題として取り上げています。薬局に対し、国民が病気や要介護者にならないための健康づくりに寄与することを求めています。アイセイ薬局は、地域に密着した健康情報拠点となるための施策の一つとして、2010年9月より健康情報誌『ヘルス・グラフィックマガジン』を年4回発行しております。社会の皆さま一人ひとりが病気の予防や健康づくりのために取り組む環境を育んでいくことを目的としています。医学や栄養学、運動学など各分野の専門家による健康情報を、楽しく、わかりやすいビジュアルでお届けする情報誌で、最新号では、“高血糖”をテーマに取り上げています。

また、“高血糖”号は、10月16日より、アイセイ薬局約40店舗で展開している地域住民の健康づくり啓発のための物販企画『AISEI healthcare shop』と、テーマを共有して展開しております。患者さまの目に留まりやすい薬局店舗入口から処方せん受付窓口を結ぶ導線上にオリジナル物販棚を設置し、“高血糖”を予防する関連商品として食品6種類、サプリメント2種類、飲料1種類など12品目を取り揃え、『ヘルス・グラフィックマガジン』“高血糖”号とともに陳列、展開しています。誌面と連動して“高血糖”に関する正しい知識を発信しながら、皆さまにOTC医薬品や健康食品使用に関する助言や、日頃の健康づくりに関するご相談につなげていくことを目指しています。アイセイ薬局は地域の皆さまの健康増進のお役に立てる健康情報拠点として、健康づくり啓発の取り組みを今後も推進してまいります。

※厚生労働省「健康サポート薬局のあり方について」の報告書
URL：http://bit.ly/29ADAOx

＜アイセイ薬局 大森町店＞店舗スタッフと企画物販設置風景

地域住民の健康づくり啓発のための物販企画『AISEI healthcare shop』と『ヘルス・グラフィックマガジン』“高血糖”がテーマを共有

●今回の物販企画について実施店舗にお話を聞きました！

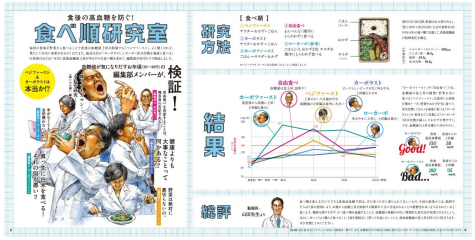
大森町店
店長　関 愛美
（せき まなみ）

患者さまの健康のためにできること

『ヘルス・グラフィックマガジン』と物販の連動企画がはじまって約1週間経過しましたが、薬の待ち時間に、健康情報誌『ヘルス・グラフィックマガジン』を手にとった患者さまが物販棚の商品も手にとり、購入されているケースが多く見受けられました。大森町店に来局される患者さまは幅広い年齢層で構成されていますが、比較的若い世代の患者さまも多いです。『ヘルス・グラフィックマガジン』と連動させての展開となった今回の“高血糖”をテーマにした物販企画は、日常生活で血糖値を意識できる良いきっかけ作りとなり、予防医療啓発につながっていくのではと感じています。また、『ヘルス・グラフィックマガジン』を読まれた患者さまから、“高血糖”を示す数値についての質問や、生活習慣についての健康相談も受けました。今後も、地域の健康サポート拠点として、皆さまから気軽に健康相談をしていただける店舗づくりを目指していきたいと思います。そして、患者さまから信頼される薬剤師になりたいと考えています。

オススメ商品
「自然派甘味料”ラカントS”」

糖質ゼロ・カロリーゼロ甘味料なので、血糖値を気になる方が料理をつくる時や、甘いものを食べる時の砂糖の代用品になり、日々の食生活に取り入れやすいのではと思います。



『ヘルス・グラフィックマガジン』“高血糖”号のおすすめページ

“食事の順番”は、皆さんに意外と知られていない情報で、食事をとる際に“食事の順番”を意識することで、気軽に“高血糖”予防につなげていけるのではと思いました。食べ順を変えるだけでできる高血糖予防は、皆さんにも是非実践してほしいと思いますね。

オススメ商品「100kcal
マイサイズ いいね！プラス 糖質が気になる方の欧風カレー」

このカレーは手軽に糖質コントロールができますし、カロリーが制限されているので、オススメしやすいです。

患者さまに選ばれる薬局づくりを目指す

千葉みなと店は近隣に糖尿病の専門外来がありますので、“高血糖”のテーマについては、もともと関心度が高い患者さまが多くおられます。今回のように健康情報誌と物販企画が連動していると、患者さまに健康増進につながるようなお話をしたり、物品もおすすめしやすいですね。『ヘルス・グラフィックマガジン』をご自宅にお持ち帰りいただいて、“高血糖”に関する正しい知識を持っていただき、次に来局された際に自然な形で物販や健康相談に結びつけていければ良いと思います。今後は、千葉みなと店ならではの特色を出していきながら、患者さまに選ばれる薬局づくりを目指していきたいと思います。

千葉みなと店
店長 山城 隼一
（やましろ じゅんいち）

『ヘルス・グラフィックマガジン』“高血糖”号のおすすめページ

食品中の糖質量が多い食品、少ない食品の一覧が掲載されていますので、血糖値を上げすぎない「ゆるやかな糖質制限」を目指したい方にとって参考になると思います。“食の楽しみ”を犠牲にすることなく、血糖値を意識した食生活を心がけていければ一番良いのではないでしょうか。

「世界糖尿病デー」
啓発事業への参画、アイセイ薬局全店舗で

11 月 14 日「世界糖尿病デー」

world diabetes day

14　November

現在、世界の糖尿病人口は3億8,700万人に上っており、2035年には約6億人に達すると予測されています。日本においては、糖尿病を強く疑われる人や可能性を否定できない人の合計が約2,050万人。しかも、年々増加傾向となっており早急な対策が迫られています。このような状況の中、世界保健機構（WHO）は世界に広がる糖尿病の脅威に対抗するため、1991年に11月14日を「世界糖尿病デー」として制定し、2006年に国連により公式に認定されました。毎年行われている11月14日「世界糖尿病デー」を中心とした糖尿病啓発キャンペーンは、糖尿病の予防や治療継続の重要性について皆さまに周知する重要な機会となっています。

アイセイ薬局は、国民の健康増進に寄与するという観点からその趣旨に賛同し、「世界糖尿病デー」啓発事業に参画する運びとなりました。2017年11月10日から12月31日まで、アイセイ薬局全店舗にて糖尿病啓発ポスターの掲示や「世界糖尿病デー」啓発チラシ、冊子等を配置し、啓発活動を実施します。この活動をきっかけとして、検体測定や栄養相談等を通して患者さまとのより密接なコミュニケーションをはかり、かかりつけ薬剤師・薬局への取り組みを積極的に推進してまいります。また今後は本活動に留まらず、公益社団法人日本糖尿病協会が行う様々な糖尿病予防を啓発する取り組みにも参加し、ココカラファイン社など他社薬局会社とも協力しながら活動してまいります。

★世界糖尿病デーに関しての詳細は以下のURL をご覧ください。
URL: http://www.wddj.jp/

健康管理の身近なパートナーとして「かかりつけ薬剤師」登録促進の取り組み

アイセイ薬局全店舗で掲示されている
A1サイズのかかりつけ薬剤師の
登録推進するポスター

かかりつけの認定薬剤師は、
白衣に写真のバッジを装着しています。

アイセイ薬局では、患者さま本位の医薬分業の実現に向けて取り組んでいます。薬のプロフェッショナルとして薬剤師が皆さまの薬物治療に関する不安や悩みに寄り添いサポートできるよう、「かかりつけ薬剤師」の登録を積極的に推進しています。2017年10月1日時点で、全337店舗中295店舗に542名の「かかりつけ薬剤師」が在籍しており、今後は「かかりつけ薬剤師」を全店舗に配置できるように取り組んでまいります。また、アイセイ薬局各店舗では、ポスターや動画などを使い、来局される患者さまに「かかりつけ薬剤師」への理解と登録をおすすめしています。薬剤師が健康管理の身近なパートナーとして、より一層地域の皆さまに貢献できるように、今後も「かかりつけ薬剤師」「かかりつけ薬局」への取り組みを推進してまいります。

『かかりつけ薬剤師』登録促進の動画
【アイセイ薬局の YOUTUBE 公式チャンネルはこちら】http://bit.ly/2h7LyWj

2017年3月29日より『かかりつけ薬剤師』登録促進の動画が、アイセイ薬局各店舗に設置しているデジタルサイネージ「ヘルスケア・ビジョン」でも放映開始しています。
『かかりつけ薬剤師』登録促進訴求の動画は、患者さまの立場での代表的な事例として、① 子どもに処方された薬の飲み方について ② 複数のクリニックから処方される薬の飲み合わせについて③ 体調変化の相談について、3つの種類が放映されています。

広がるアイセイ薬局グループ

2017年11月、アイセイ薬局では調剤薬局3店舗が新規オープンし茨城県で調剤薬局を展開する株式会社トライ（旧：有限会社トライ）がアイセイ薬局の仲間入りをしました。これにより、アイセイ薬局グループが運営する調剤薬局は340店舗（2017年11月2日時点）となります。今後も地域に愛される薬局づくりを掲げて、質の高いヘルスケアサービスをお届けしてまいります。

≪新規開設店舗≫

オープン日	店舗名	所在地
11月1日	アイセイ薬局　鷺沼店	神奈川県川崎市宮前区有馬5-19-7-102
11月2日	アイセイ薬局　稲城店	東京都稲城市東長沼3107-4 京王リトナード稲城3階302
11月21日（予定）	アイセイ薬局　日進赤池店	愛知県日進市赤池町箕ノ手1番

≪アイセイ薬局グループ加入店舗≫

加入日	会社名	店舗名	所在地
11月1日	株式会社トライ※	きりん薬局	茨城県笠間市鯉渕6268-103

※ 旧：有限会社トライ

勝どき店、鷺沼店、稲城店オープンに伴い『内覧会』を実施しました！

クリニックステーション鷺沼OPENイベント
医師セミナー「おなかの病気と検査を知ろう」

アイセイ薬局 勝どき店「健康チェック＆相談会」

10月末から11月の始めにかけて続々とオープンする3店のアイセイ薬局において、10月28日・29日の週末に、「内覧会」が行われました。「内覧会」とは、薬局のオープンに先立って、地域の皆さまに薬局を開放し、その役割や機能を知っていただくために行うイベントです。今回、オープンとなった勝どき店、鷺沼店、稲城店はいずれも、アイセイ薬局が開発に関与した「医療モール」の一角に開局するため、いずれも医院と連携し「医療モール」としての内覧会を行いました。

この内覧会では、普段は立ち入ることのできない薬局や医院・病院の設備を来場された方々に見ていただくことで、皆さまに信頼を寄せていただけるようにしています。また、血管年齢や肌年齢の測定、記憶力などのチェックや結果に基づくアドバイスを行う「健康チェック＆相談会」などは必ず行っています。

10月28日に内覧会を開催した「クリニックステーション稲城（稲城店が入る医療モール）」では、京王線稲城駅直結という利便性に加え天候にも恵まれ、非常に多くの方々でにぎわいました。内科医による「腸内細菌を知ろう！」というテーマのセミナーも好評でした。10月29日に行った「メディパーク勝どき（勝どき店が入る医療モール）」、「クリニックステーション鷺沼（鷺沼店が入る医療モール）」では、悪天候の中、多くの皆さまにご来場いただき予想を上回るにぎわいでした。鷺沼のモールでは、内科医による「おなかの病気と検査を知ろう」というセミナーが、大雨の中、ほぼ満席となる盛況ぶり。いずれも、これらの医療モールが、地域の皆さまに大きな期待を寄せていただいていることを再認識する内覧会となりました。

アイセイ薬局グループの施策に関するご質問や取材のご依頼は、下記ご連絡先にて承っております。

株式会社アイセイ薬局　コーポレート・コミュニケーション部
担当：霜（しも）・熊谷（くまがい）
TEL：03-3240-0994　E-mail：koho@aisei.co.jp
〒100-0005　東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビルディング